九州新幹線全線開業記念インタビュー

「笑顔」で起こす サプライズ

県では、3月12日の九州新幹線の全線開業をきっかけにして、「くまもとサプライズ」運動に取り組んでいます。この運動は、県民がみずからの周辺にある驚くべき価値のあるものを再発見し、それをより多くの人に広めていこうというもので、この運動を通してさまざまなサプライズを掘り起こすことで、『県民自身の日常がより豊かなものになる』ことを最大の目的としています。

今号では、県の宣伝部長を務めるタレントのスザンヌさん、本市出身で「くまもとサプライズ」の提案者である小山薫堂さんに、熊本が持つ魅力についてお聞きしました。

※この特集は、熊本県広報協会から提供された原稿をもとに編集しています。

スザンヌさん

熊本市（旧植木町）生まれ。
「クイズヘキサゴンⅡ」、「サンデーネクスト」などに出演し、同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演。
2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した。

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する極意を語ってもらいました

熊本の魅力は、やっぱり おいしい「水」

熊本にはたくさん良いところがあります。その中でも、やっぱり「水」がいちばんの熊本の魅力ですね。水がおいしいから、野菜もみずみずしいものができる。水道からミネラルウォーターが出るなんて言いますけど、東京では考えられません。向こうでは、水道水をそのまま飲むなんてできない。熊本を離れて、水が変わったことで肌がすごく荒れたんです。「水にお金を出すの？」と不思議な感覚でしたが、外に出てあらためて熊本の水はきれいなんだって思いました。

熊本は自然が豊かで、山も川もあって、少し行けば海もあります。気軽に温泉にも行くことができて、とてもいいですよね。

おもてなしに必要なのは「知る」こと。そして「笑顔」

熊本の人にとって当たり前だと思っていたことが、他県の人からすると、「熊本にはそんなことがあるんだ」と思われることが多い。例えば、太平燕（タイピーエン）はあんなにおいしいのに熊本にしかない。桜納豆を知り合いが食べて「馬肉と納豆？」と驚いていたけど、「スタミナがつくね」とごはんをおかわりして食べていました。国産畳もほとんどが熊本で作られていることを知らない人が多いし、みかんだって、1種類しかないと思っている人がたくさん。でも、熊本には、デコポンや晩白柚（ばんぺいゆ）だってある。熊本を出て、宣伝部長になって格段に、熊本のことを知ることができたし、詳しくなりました。この「知る」ことがいちばん大事なのかなと思います。まずはそこに行って、自分の目で確かめる。そして、自分で驚いたことや感じたことを人に話して「行ってみたい」と思わせたいですね。

九州新幹線が開通して、県外の人がたくさん熊本に来ると思いますが、笑顔で迎えてほしいですね。私はどんなときでも、笑顔を忘れないようにしています。落ち込んでいても、笑っていたら楽しくなるでしょ。〝ムスッ〟としている人より、笑っている人の方が親しみやすい。だから笑顔って大事だなって思います。皆さんも、笑顔でおもてなしをしてください。

小山薫堂さん

天草市（旧本渡市）生まれ。
放送作家として「料理の鉄人」や「THE世界遺産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど、高い評価を受けている。

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」には何が必要なのかを聞きました

くまもとサプライズは、新幹線の開業で熊本に来た人たちを驚かせる（サプライズ）企画ではなく、熊本の人に「日常をリセットしてもらう」ための企画です。この企画で、自分の中で、当たり前だと感じているものでも、県外から見れば、すごく特別で驚くような価値をもったものがあることを知ってもらうのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感しました。上京して体を洗ったり歯を磨いたりするときに水を使いますが、そのときに「やっぱり熊本の水はおいしいなぁ」と感じるんです。熊本ではこのようなことを思ったことがありません。豊かな地下水を毎日気持ちよく使うことができる熊本県民は、なんて幸せな人たちなんだろうと思いました。それが「当たり前の幸せ」です。

当たり前が幸せだと感じてほしい

県民の皆さんに、日常生活の中で「当たり前の幸せ」を見つけていってほしいと思います。皆さんが「当たり前」を再認識することがサプライズになり、県外の人への「おもてなし」につながるのではないかと思っています。

ぼくは幸せを運ぶ天使になりたい

ぼくは、生まれ変わるならシャンパンを作る人になりたいんです。おめでたいときに、シャンパンで乾杯するようなことってありますよね。そんな小さな幸せを演出する人になりたいんです。

例えば、天使みたいに陰に隠れながら、いろんな人生にちょっといたずらをして、人と人を巡り合わせたい。そして、幸せになった人たちをこっそり見るのがうれしいですね。くまもとサプライズでも、僕の役割は、皆さんの背中をちょっと押してあげるだけだと思っています。それをきっかけに、熊本の魅力に気付いた人が動いてほしいですね。

そして、地域の人たちの熱き思いが、熊本を変えます。しかし、全員が熱き思いを持つ必要はなく、それをみんなが応援していくことが大切なのです。熊本の人には、変えようとしている人を見守り、そして応援する人になってほしい―。それが熊本の幸せであり、みんなの幸福につながると思っていますから。

くまもとサプライズ
キャラクター
くまモン